

生誕100年 岡鹿之助展

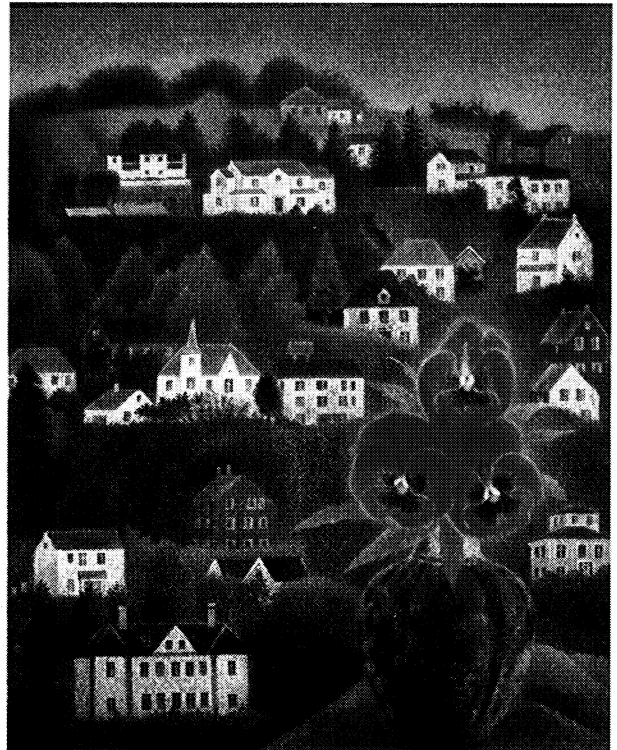
9月26日(土)～11月15日(日)



点描風の繊細な筆致と静謐な雰囲気の人々を魅了する洋画家・岡鹿之助(1898～1978)の生誕100年を記念して、その画業の全貌をふりかえる回顧展を開催いたします。

岡鹿之助は1924(大正13)年に東京美術学校油画科を卒業の後パリに渡り、15年あまり滞在して勉強や制作を続けました。その間、身につけたフランス美術の理知的な伝統は、岡芸術の土台を築いているといえます。色彩そのものの美しさを損なわないよう、絵の具を混ぜず、ていねいに重ねられた細かいタッチ。そして安定した構図。知性と感覚が見事に調和した詩情あふれる油絵が岡の作品の特徴です。彼の描くヨーロッパの古城、灯台、発電所などの古風な建物や、パンジーや百合などの花々の絵は、あたかも優美な音楽や極上のワインにもたとえられるでしょう。

初期から晩年に到る代表作約120点に素描や版画30点を展示する今回の展覧会は、岡芸術の真価を再認識する絶好の機会となるに違いありません。



段丘(絶筆) 1978年



観測所(信号台) 1926年
(茨城県近代美術館蔵)

開館時間 ○ 9:30～17:00(最終入館は16:30まで)

休館日 ○ 毎週月曜日、11月4日(休)

講演会「岡鹿之助の芸術」

講師/島田康寛氏(京都国立近代美術館学芸課長)

10月11日(日) 14:00～ 美術館講堂にて(入場無料)

ギャラリートーク

① 10月2日(金) 14:00～ ② 10月17日(土) 11:00～

観覧料 ○ 一般・大学生 = 840円(680円)

高校生 = 630円(470円)

小・中学生 = 420円(310円)

※()内は20名以上の団体